

◆今日、アイセスさんの話を聞いてガイドブックには載っていないことを教えてもらってとてもためになりました。そのほかにも、外国人と話す時はアクセントが大事ということや「～tion」という単語は「tion」の前にアクセントがあるなど、これからの学習のうえでもとてもためになることを教えてくれました。とても良い経験ができてよかったです。

僕たちの担当をしてくれた岡野さんは暗誦とは「心で学ぶ」ことだと言っていました。僕も心で学べるように頑張りたいです。そして「自信を持って」と言っていました。僕はこの法隆寺のガイドを自信を持ってやりたいと思います。

◆僕は、アイセスさんの話を聞いて、法隆寺のことを、いろいろ教えてくれました。ガイドブックに載っていないことも教えてくれました。僕はあまり法隆寺のことがよくわからなかったのが法隆寺のことがちょっとわかってきました。

アイセスさんは英語がペラペラでした。僕も英語が普通に喋れるようになりたいと思いました。法隆寺のことは、まだよくわからないけど、案内学習のときは頑張ろうと思いました。

◆今日、アイセスさんと話して思ったことがやっぱり英語は難しいなあと思いました。まだはっきり言ってあのガイドブックは覚えていないし、すでに覚えていたところもいざ他人に言うとなると緊張して言えなかったりと散々なことになったりして、すごく法隆寺現地案内学習が心配になりました。

しかも、法隆寺に対する質問もまともに答えられなかったけど、自分に対する質問すらまともに答えられなくて焦りました。自分への質問ぐらいは簡単に答えられるだろうと思っていたけど、それすらまともにできなかったのが当日（法隆寺現地案内学習）大丈夫かなあと思いました。

でもアイセスさんから教えてもらった会話表現もあるし、当日は何とかなるかなと思いました。

◆今日、アイセスの岡田さんに法隆寺案内学習をするにあたって、案内の仕方、発音の仕方、アクセントなどいろいろアドバイスをもらいました。

“I'm at a loss” と戸惑わずに大きな声で話そうとってくれました。僕は英語を話すことや、聞くことが苦手ですが、英語が好きなので、“The future is yours. Never give up!!” 精神で本番もがんばりたいです。

◆今日アイセスさんと英語の勉強をして、自信を持つことと落ち着いて集中することが大切と学びました。またアイセスさんとの勉強はいつもの勉強とは違う感じだったので、とても楽しかったし、ほとんど英語での話し合いだったので、ほとんど何を言っているのかわかりませんでした。自分のためになったと思います。いろいろな事を学べてよかったです。読むときの注意点なども教えてもらってよかったです。

◆アイセスの人は、読むときの注意点や、仏像などの詳しい高さを忘れたときは、**Very tall** と言えば良いと、教えてくれました。

英語で話すとかはまったく無理だと思っていたけど、落ち着いて、集中すれば、聞き取ったり話したりすることができたので、少し自信を持つことができました。

◆今日はアイセスの人たちと話したが、英語はスラスラ話そうと思うと難しく、しかも、途中でつまったりしたがまあまあできてよかった。また、ガイドのアドバイスもしてもらったが、本番にそのアドバイスをいかすことができるのか不安になった。僕の班である2班と

話したアイセスの人は、予想外にもドラゴンボールを知っていて、イギリスでも人気だということを知ってビビった。

◆僕は外国人との会話で大切なのは、話を続けることだと学びました。中でも日本語を知らない外国人たちには、些細なことに対しても知識が必要だと学びました。たとえばトイレの場所、その場所の行き方、日本の文化など、たとえ法隆寺やそのほかの知識を持っていてもそこへの行き方を知らなければ全然ダメだと思いました。

あと会話を続けることも大切だと思いました。だから僕は日本の良さ、そして外国の方々が法隆寺をより便利にそして楽しく過ごせる、この二つの知識が必要だと思いました

今回は自分が実際の案内学習で会話したらいいか学べてよかったです

◆物がある場所やトイレの場所が全然わからなくてアイセスさんに教えてもらい、自分はまだまだ未熟だなと思い、ちゃんとできるか不安になりました。英語で無駄話を入れるコツも教えてもらい、危機回避方も教わりました。

全てとてもいい勉強になりました

◆僕は外国人と英語を気楽に話すことが好きです。今回はアイセスさんと英語を話したけど、とてもやさしくて話しやすかったです。英語を学ぶことは自分の力になるってことがすごい分かりました。

◆梅田さんは、王寺町に住んでいて、昔は斑鳩町にも住んでいたと言っていました。あとはバゴダの発音に気をつけないと相手の外国人に伝わらないことや、thの発音に気をつけることなどを、とても丁寧に教えていただきました。さらに、法隆寺の金堂の壁は一度焼けていて、今展示されているのは壁画の模写であるなどの、法隆寺についてもいろいろ教えていただきました。とても丁寧に優しく教えてくださったので、あまり緊張しなかったし、おもしろかったです。

◆発音をしっかりする。thの発音をしっかりする。法隆寺の人たちは電気恐怖症なので、あんまり電気機械を使わない。よくあんなおじいちゃん、おばあちゃんがきれいな英語をはなせるなと思った。

久しぶりに英語で会話ができてよかったです。たくさん勉強ができてよかったです。もっとこういう体験をやりたいと思いました。アイセスの人はものすごい努力をしたのだなあとと思った。とてもよい1時間だったと思います。大きな声で話すことと、挑戦することが大切だということを学びました。アイセスさんのおかげでよりよい案内ができると思いました。

◆僕は、若いおじさんで何しゃべってるかよくわからなかった。最初は英語嫌いやったけど、わかりやすくなって、楽しかったです。アイセスさんに教えてもらったことをいかして、これからも英語をどんどん好きになれるように努力したいです。

◆今日ではないが、法隆寺事前学習のためにアイセスさん達が来てくださった。私の班に来てくださったのが、梅田さんという方だった。担当の梅田さんは最初に見たときは少し怖かったけれど、思っていた怖いイメージではなく、やさしい口調で教えてくれてすごくなじみやすくて、私がわからない単語もわかりやすく教えてくれて、とてもいい人だと思った。

最初の自己紹介のときに、英語で『好きな食べ物は何ですか?』と聞かれ、とっさに「納豆」と答えてしまった。けれど、意外に反応がよかったのでよかったと思った。

梅田さんには、また会いたいと思いました。

◆アイセスさんと学習して最初に思ったことは、アイセスさんの英語がペラペラで少し感動しました。あれだけ英語を話せたら便利だなと思いました。

授業では僕のところは梅田さんという方で、法隆寺のガイドブックに載っている単語の発音のしかたをていねいに何度も教えてくれました。また一人ひとりに英語で質問を出してくれて、間違っていたらしっかり教えてくれて良かったなと思いました。僕はガイドブックの自分のところをだいたい覚えていてすらすら言えたので、梅田さんに「そんな感じやったら全然OKやで」と言われてうれしかったです。

梅田さんが教えてくれたことを1つあげると、日本語にはない「th」の発音のことです。この発音をちゃんと発音しなかったら違う単語になってしまうということです。今後気を付けて発音していこうと思いました。

この学習で学んだこともあってそれに楽しかったので、法隆寺案内の方はより良いものにしたいなと思いました。

◆今日のアイセスの梅田さんとの学習で、話の受け答えや英単語の発音、法隆寺についての知識など、いろいろなことを学びました。例えば「th」、この発音の仕方は日本語にはないので、「mouth」が「mouse」に間違えられると、さっそく注意されました。ほかにも、たくさんのことを教わって、法隆寺のことも他のものものことも、知らないことだらけなのだと感じました。また、いざ人を相手に話すとなると、少し緊張してしまって、声が小さくなってしまいました。

この学習を、今度の実習に生かしたいと思います。

◆英語を楽しむように。また言語は、分かりやすくはっきりと。と言っていました。私は英語は、あまり好きではありません。でも、外国人と会話できるってすごいことだと思いました。アイセスさんの方たちは、いろいろな事をいっぱい勉強していることも、分かりました。私は、アイセスさんたちが、とても好きになりました。

会話を英語で分かりやすく楽しくできて私たちは、まだ未熟ものでこれからいっぱい、英語を勉強して……。そうしていったら、いつかアイセスさんたちみたいに、なれるのかな？と思った。ありえないが、外国人にある日、突然、恋をしてしまうかもしれない。外国人にトイレの行き方を、教えてあげないといけない日がくるかもしれない。いろんな国の人がいて、会話する時が来ると思う。そんなとき、アイセスさんみたいに、英語を話せたらすごいだろうなと思った。Yes,や No,言い方だって決まってくる。社会に出て外国に旅行に行くときにだって、英語を話せなかったら、すこしショックだし……。

アイセスさんとの交流をまじえて、自分になかった所を、もらったような気がしたと思います。

◆一時間という短い時間だったけどいい経験ができました。

英語で聞かれたとき最初何言っているのか分からなかったけど、頑張って単語を一つ一つ並べて考えてみるとだんだん内容のすじが分かってきました。他にも法隆寺についての詳しいことを教えてもらえたので、だんだん楽しくなってきました。

留学生に法隆寺を紹介する時はちゃんと相手の目をみてゆっくりハッキリ自分が一番伝えたいことを伝えたいと思います

◆私の班のアイセスの方は、法隆寺のガイドブックを見ないでする方で、少し法隆寺の本番に役立ったなあとと思いました。でも、完璧に覚えれていなかったのが、残念でした。

法隆寺に行って、外国人の方にまず、挨拶をする。名前を言う。話すときは恥ずかしがらず、自信を持って、気楽にゆっくり、はっきりと相手の目を見て話すといういいことを教えていただき、法隆寺のいろんなことも分かりました。こんなに近くに住んでいるのに知らないことがたくさんあって、この機会に知れてよかったです。また、貴重な体験ができて、とてもよかったです。

◆アイセスの方に来ていただいて、案内の仕方がよくわかりました。

最初に、外国人へのあいさつや案内するときの注意を教わりました。例えば、「相手の目を見て話す」、「恥ずかしがらずに」、「手で示す」、「ゆっくりと、明瞭に」などです。

次に、内容について教わりました。法隆寺は町内にあるのに、あまり行ったことがなく、知らなかったことがたくさんありました。いつか、行ってみようと思いました。

この事前学習で、痛感したこともあります。それは、「覚える」ことです。内容を覚えていないと、案内なんかできません。それを、とても思い知らされました。

本番までにしっかりと覚えなおして、いいガイドができたらいいなあと思います。

◆最初はいきなり「No テキスト, No Look テキスト」と言われたので、少し戸惑いましたが、アイセスさんはテキスト+法隆寺の知識まで全部頭に入っているんだなあ。すごいなあ。と思いました。

9月に覚えてテストをしたばかりだけど正直、全部が全部覚えている自信がありませんでした。順番が回ってきてアイセスさんに「言ってみて」と言われ、自信がないまま発表すると、やっぱり忘れていたところが多々あって、「こんなのでガイドなんて出来んのかなあー??」と思いました。アイセスさんが「あなたたちは外国の人よりも法隆寺のことを知っているのだから大丈夫。自信持って。」と書いてくださいました。それを聞いて、私のできる範囲で頑張ろうと思うことができました。

外国の人たちを本当にガイドするなんてめったにない経験なので、楽しめたらいいなと思います。

◆とても楽しかったです。今日佐藤さんから教わったことは、案内する時、自己完結しているだけでは、うまく伝わらないということです。相手に伝わるようにするには、まず相手の目を見てゆっくり、はっきり、身振り手振りを使って伝えることが大切だそうです。そして、恥ずかしがらずにしゃべること。これが一番大事です。やっぱり、知らない人と初めて会って、いきなり何かを話すのは、恥ずかしいです。上がってしまうことも多々あります。けれど、リラックスしてきはき話すように心掛ければ、大丈夫だと教わりました。

アイセスの方々は、いうまでもなく英語はペラペラで、私の知らない英単語をたくさん使ってとても自然に英語を駆使していて、見ているとすごく憧れました。私も、もっと英語の勉強が必要だな・・・と、とても感じました。また、法隆寺のあつと驚く豆知識も教えていただけました。なかでもびっくりしたのは、法隆寺と姫路城は同じ年に世界遺産に登録されたそうです。

私は、以前に英会話をならっていて、外国人の方と二人で話す機会もありました。もちろんそこでは日本語は通じません。そこにいるのは私と外国人の先生だけ。最初、私はタジタジしてしまって、五分間くらい黙り込んでしまいました。そんな時、先生は私に一言、こう言いました。「リラックス！」外国人の方々は、日本人ほど、おどおどしていません。どんな時も、落ち着いて冷静に、また「なんとかなるさ！」と、どっしり構えています。その時私が強く感じたことは、佐藤さんも言っていたようにコミュニケーションは、緊張しても仕方ない面がある、ということです。

私の班が案内する人は・・・どんな人かはわかりませんが、私たちも落ち着いて、覚えるところは忘れず、はっきりくっきり話して、ベストを尽くせばいいな、と思います。

アイセスの方々、本当にありがとうございました。

◆アイセスさんと授業をして、いろいろと学びました。法隆寺の事に関して自分が知らない事がたくさんあって、勉強になった。法隆寺の学習がよりいっそう楽しくなった。アイセスさんにいろいろアドバイスしてもらいながら、授業をしてすごく楽しかった。法隆寺の事に関してもっと勉強がしたくなった。アイセスさんは、英語がペラペラだったので、自分もああいうふうに英語がペラペラになれば

いいなあと思った。

◆今日、アイセスさんとの事前学習でアイセスさんの英語の流暢さに驚きました。すごい優しく教えてくれて、今まで知らなかったこともたくさん知りました。英語のなかでもゆっくり大きく言うところ、速く小さくてもいいところなどを注意深く教えてくれてとてもうれしかったです。英語の出入りがわかりやすくなって、自分でもききやすくなりました。今日の授業はとても楽しかったです。今日の学習を生かして本番に挑みたいと思います。

◆授業が始まる前は、《英語がちゃんと聞きとれるかな?》とか、《ちゃんと話せるかな?》とかいろんな事を思っていました。でも、アイセスの人は、とっても優しくかったです。いろんな写真を見せてくれて、詳しく説明してくれました。

それに、先生が言っていたとおり、英語がペラペラで《すごっ!!》って思いました。

私は、案内しないとイケないのに法隆寺には今回行くので二回目でした。今回の授業がなかったら、どうなっていたことか……だから、今回はこの授業があつてめっちゃ助かりました。

それに、いい経験ができたのでよかったです。

◆アイセスさんの英語はとても流暢で、何が何だか初めはよくわかりませんでした。当然、知らない単語が沢山出てきて、聞き取れないので、途中で聞くのを断念しようかな、とも考えました。それでも、アイセスさんは、英語で説明してくれた後にしっかり日本語でわからなかったところを解説してくれたので、しっかりメモする事ができました。

後になったから言える事ですが、聞いていて本当によかったと思います。アイセスの人は勿論日本人の方なのに、すごく英語を勉強なされていて、やっぱり学ぶ事は多いなあと思いました。

世界に法隆寺を広めていくために、この人達は本当に苦労したのだなあと思うと、私ももっと頑張らなくてはいけないなあ実感しました。

同じ斑鳩に、法隆寺のある町に住む人間として、私ももっと努力していけたらいいなあと思います。斑鳩を世界に広めて、もっと多くの人達が、斑鳩町や法隆寺、他の寺院の事を知ってくれたらいいなあと思いました。普段英語で話す機会なんてそうそう無いので、とても良い経験になったと思います。

アイセスの皆さん、ありがとうございました。

◆私は、小さい時によく法隆寺に行っていたのですが、全然何も知らなくて、今回の学習で法隆寺のコトに詳しくなれた気がしました。世界文化遺産が身近にあるのに全然知らないより知っている方が断然良いつことを思いました。

それに、アイセスさんが優しく、詳しく教えてくれたので、もっと知りたいと思いました。

英語も何となくだけ聞き取れるようになったし、とっても楽しかったです!!

この様な授業を一年の時からやりたかったと思いました。これからはもっとこの様な授業を増やすべきだと思います。

◆私は、身近にある法隆寺を知っているつもりでいましたが、今日アイセスさんとお話をしてまだまだ知らないことがたくさんあることに気づきました。

教えてもらったことは…

- ・『日本では9面観音ではなく11面観音が有名であること』
- ・『中国で9面観音が作られたこと』

- ・『中門は仏教の入り口だからいつも開いていないということ』
- ・『聖徳太子は、622年の2月22日に亡くなったということ』
- ・『Agyo の A は最初(first)を意味していること』
- ・『Ungyo の U は最後(last)を意味していること』
- ・『南大門は法隆寺の入り口であること』

このようなこと教えてもらいました！！

私は、英語で話すのはあまり得意ではなかったのですが…今日の事前学習で英語を話すことが得意になった気がします。

そして、法隆寺ガイドブックを読んだ後などに「OK!!」と言っていたことがとてもうれしかったです。頑張って法隆寺の案内を成功させたいです！！

◆今日は、あんなに英語ばかりで話して、全然文章にならなくて、単語・単語でしか話せず、めっちゃゆっくり話してもらわないと、全然話の内容がわかりませんでした。ゆっくり話をしても、それでも単語しか聞き取れない時もありました。

自分のところの覚えていたやつも、なかなか初めに覚えていたことが思い出せなくて、結局あんまり覚えていないんだなあと思いました。

全然英語を答える時も文ではなく、単語で答えることが多かったので、本番いろいろ聞かれると絶対ちゃんと答えられないだろうなと思いました。だから、本番までにもっとちゃんと答えられるように勉強しておかないといけないなあと思います。

もっと英語の知識を高めて、聞かれたことになるべく答えられたらうれしいです。そうなれるように本番までに少しでも多くガイドブックを覚えてちゃんと話せるようにしたいです。

◆今日の法隆寺事前学習では、アイセスさんから法隆寺についての詳しい話を聞かせて頂きました。例えば、釈迦三尊像や百済観音像などの後ろについている丸い円盤みたいなやつは、『光背』というそうです。英語では“halo”（ヘイロ）といいます。その裏には、その像を造った人の名前といつ造られたのかが書いてあり、釈迦三尊像の光背の裏を見ると『623年に止利仏師によって造られた。』ということが書いてあるそうです。しかし、百済観音像の光背の裏には何も書いてなくて、誰が造ったのか分からないそうです。

今日の学習で一番思ったことは『英語は何回も何回も繰り返してやると、自然と覚えるものだ。』ということでした。だから、間違えてもいいから、積極的に英語を話していけば、自然と身に付くのかなと思いました。本番では、頑張って留学生さんと積極的に話したいです。

◆法隆寺のことをたくさん教えてもらって楽しかったし、法隆寺の中にある像とかの意味を一つ一つ詳しく教えてくれたので良い経験になりました。家の近所にあるけどあんまり法隆寺にいかないの、奈良出身なのにこんなにも知らなかったんだと思いました。教えてもらった事を私が留学生さんに教えていけたらと思います。戸惑ったりすると思うけど、たくさんの人とコミュニケーションをとっていきたいです。私は、英語で会話するのが苦手なので、これをきっかけに英語で自分から話せるように頑張りたいです。

◆私は法隆寺事前学習でアイセスさんに法隆寺について授業で教えてもらったこと以外にもいろんな事を教えてもらいました。授業では、ガイドブックの書いてあるところしか説明してもらえませんでした。アイセスさんに細かい意味や本当のこと、たくさん教えてもらいました。例えば、中門は、本当は法隆寺の入り口ではなく、仏様の神聖な世界の入り口で、法隆寺の入り口は南大門だと教えてもらいました。他には、金剛力士像は「Guardian Kings」と言う事もあることも初めて知りました。

アイセスさんとの事前学習はとてもいい勉強になりました。個人的にも、たくさんの知識を得ることができました。また、このような

機会があればいいなと思いました。

◆アイセスさんとの学習って最初聞いた時は「えーっ！」って思いました。「英語で話すとかむりやし!!」って思っていたけど、私たちの班に来た高橋信男さんは陽気な人で、話して楽しかったです。

高橋さんは本当に英語が上手くて、私たちが聞き取れない英語は日本語に訳してくれました。私たちも「Yes, No」とか「more difficult」などの単語を話しました。なかなか英文にはできなかつたけど、高橋さんは怒ることもなく待っていてくれました。法隆寺のこともたくさん聞きました。

中門は法隆寺の入り口ではなく、仏さまの神聖な世界に入る入り口だということ、本当は南大門が法隆寺の入り口だということ、金剛力士像のあぎょうとうんぎょうの口は「サンスクリ」というインドの古い言葉で始まりの音「a」、終わりの音「un」を意味していてそのことから金剛力士像はお寺のすべてを守るとされていることなど、本当に「なるほどー。」って思いました。

そのあとは、質問タイムで、英語でいろんなことを話しました。高橋さんが69歳ってということも分かったし、意外に楽しめて、良かったです。

### 法隆寺事前学習感想文 3年 2組

◆HIGH と TALL の違いがわかった。法隆寺について知らないことが多くて当日は案内できるのかと心配になった。斑鳩町に住んでいるが知らないことが多かった。日本の良さは外国人がよく知っているのは本当だ思った。こんなにすごい寺が近くにあるのにそのありがたさもわからなくなっているから、もっと法隆寺について知りたくなった。

◆事前学習ではほとんどが英語での会話だったけど、大体の意味を聞き取れて嬉しかったし、聞き取れなかったところを何度も繰り返し発音してもらい、とても分かり易かった。また、一人一人に丁寧に教えをつけてもらったので、とてもよく身に付いた。ガイドブックに載っていないことや法隆寺での実際のガイドで役立つような知識を教えて貰ったのも良かった。

特に自分は、単語のアクセントの位置の間違いが多かったので、事前学習があつて良かったと思います。それに、暗記部分で一部忘れていたところも明らかになって、そこを発見したり、見直すのに丁度良かった。

◆アイセスさんと英語で話して全然分からなかつたけど、分からないところは聞いて分かりました。すごく楽しかったです。また機会があればやりたいです。

◆アイセスさんは法隆寺のことしか English で話せないと思っていたけど、法隆寺事前学習では、English がペラペラでビックリ！しました。アイセスさんは、とても優しく教えてくれたので、とても分かりやすかったです。

ぼくも、アイセスさんみたいに English が上手くしゃべれるようになりたかつたし、またアイセスさんに English を教えてもらいたいです。

◆法隆寺事前学習は、いつもと違ってとても楽しく、いい体験をさせてもらった。今日の勉強をこれからも生かしていきたい。

◆アイセスさんと授業をして色々なことを教えてもらいました。アイセスの方は同じ日本人なのに英語をペラペラに話せるのはすごいなと思いました。でも、アイセスの方やプロのツアーガイドの方は中学生レベルの簡単な英語で外国の方を案内していると言っていました。

だから、かたくならずに間違った英語でもいいからコミュニケーションをとることが大事だと言っていました。

アイセスさんと授業できたのはいい経験になったと思います。

◆アイセスさんが来てくれて、外国人への説明の仕方やコミュニケーションの取り方などを教えてくれました。この授業はアイセスさんが英語ペラペラなのでびっくりして緊張しましたが、しっかり自分の班の人たちやアイセスさんがフォローしてくれたのでどうにか最後まで頑張ることができました。アイセスさんの授業はわかりやすくいい授業になったと思いました。

◆アイセスさんは、説明を覚えてなくても目を見て話して、単語をつなぎ合わせたら何とか通じると言っていました。コミュニケーションが大事で、わからないところがあったらグループで助け合っていけば大丈夫とも言っていました。アイコンタクトをとり、グループで助け合いながら法隆寺を案内したいと思います。

◆とても親切にしてくれて話しやすかった。もし、何を言うか忘れてしまっても、アイコンタクトで笑顔で接することが大事だということ学んだ。丁寧に教えてくれてとても良い勉強になった。ペラペラ英語を話すアイセスさんを見て、かっこいいなと思った。

◆我々のためにわざわざ来て下さったICESの人々に感謝しつつ感想を述べさせてもらいます。わざわざありがとうございました。自分の発音の指摘や雑学など、当日役立つような不明な点を明らかにすることができました。我々にもわかるようにゆっくり話してくれたことや、やさしい態度で接して下さったこと、どんな授業かわからなかった自分も楽しめて、よく会話できました。

アクセントの強弱や発音しない言葉、ゆっくりよむことの大切さなど、これらをいかして当日望ませてもらいます。貴重な教訓をありがとうございました。結果は上々でした。では

◆今日はアイセスさんの人と話しをしてとても為になりました。

アイセスさんには僕の知らないたくさんの方の法隆寺のことを教えていただきました。また、英語のことも教えていただきました。たとえば、僕が間違っ発音している単語などの発音の仕方をやさしく教えてもらいました。そして、日本人には英語をはやく話すということはとても難しいことなので、ゆっくりでもいいから正しく発音するほうが良いということも聞きました。

学校の先生ではない大人の方と話す授業というのは新鮮でとても楽しかったのですが、アイセスさんの言っている英語がどういう意味なのかがよくわからなくて困りました。すると、アイセスさんは易しい英語で言ってくれて何とか理解することができました。とても楽しかったです。この授業で今までより少し英語が好きになりました。アイセスさんどうもありがとうございました。

◆英語は、早く言えばかっこよく見えるけど、伝わらなければ意味がないので、アイセスさんの梅田さんは、「ゆっくりと、アクセントをしっかりと言う。」と言っていたので、テストの問題では、必要ないと思っていたけど、実際には、とても大切なことがわかりました。

梅田さんの話を聞いていて、英語はわかりにくくて、質問されても、わからなかったけど、長田君がいてくれたおかげで、わかったけど、日頃からリスニングや英単語をしっかりとしないといけないと思った。めったにない経験なので、南中がある限り、続けてほしいと思った。

◆この部分をどんな風に読んだらいいのかとか、この感じでよめばいいとかを詳しく教えてもらってとてもわかりやすく、実践にむけて教えてもらった英語を生かしていこうと思います。

アイセスさんは、英語は無理に早く読んでだめだと教えてもらい、ゆっくりでいいからちゃんと発音したら伝わると教えてもらいま

した。ぼくは、実戦でも教えられたことを守ります。

◆僕はどちらかというと英語が苦手で、今回のアイセスさんとの学習はとても不安でした。授業が始まって、僕らの班を担当してくれた梅田さんは「自己紹介をしてください」と英語で言ったらしいですが、全く分からず、友達に教えてもらい色々大変でした。でも、話をしていくうちに、だんだん耳がなれてきて、なんとか質問に対しての返事ぐらいはできるようになってよかったです。

梅田さんは法隆寺に関する知識を英語で説明してくれて、一生懸命聞きとると、今まで知らなかったことがたくさんあってとてもためになりました。最後のほうに梅田さんは、英語を音読するとき、丁寧に発音することが大切だと教えてくれました。

今回のアイセスさんとの授業で英語が得意になればいいです。

◆アイセスさんとお話をしてあらためて英語は難しく感じました。アイセスさんが英語で話しかけてくれて、何言っているのかと思いがらお話しました。少しは緊張しました。でもアイセスさんは優しくとても話しやすかったです。当日の法隆寺案内の時のアドバイスもしてくださいました。本当の当日の日がくるともっと緊張するかもしれないけど、頑張ってガイドブックを覚えて成功させたいです。それでいい思い出にもしたいです。

◆私は冊子もらった時、分からない単語がたくさんあったのでまず調べるところから始めました。ノートに本文をうつし、単語を調べ、訳を見ながら自分なりの訳を書くことから始めました。そして、リズムをとりながら覚えていました。

いよいよアイセスさんが来たのですが私はとても緊張していたので、あまり話すことができませんでした。でも、アイセスさんに案内の仕方のコツを教えてもらったので、少しは緊張が無くなりました。案内のコツは挨拶と自己紹介・相手の目を見て話すこと・説明はゆっくりとすることです。案内に気をつけることは日本人同士でしゃべっている時と同じだと思いました。

本番は今日のように固まらず、落ち着いてアイセスさんが言ったことを思い出しながら笑顔で楽しくやりたいと思いました。

◆私は法隆寺のことについて、今まで知らなかったことを学びました。それは、ガイドブックに書いてあることや小川さんに聞いた話などです。私は、あんまり法隆寺には全く興味がありませんでした。けれども、この学習を通じて、たくさん学んで知りました。

法隆寺現地案内学習に行くまでにたくさん勉強しました。たとえば、一学期にわたされたガイドブックを夏休みにがんばって覚えて、2学期に夏休みに覚えたガイドブックを実際、先生の前で暗記テストをして緊張したけれど、がんばって覚えたかいがありました。

法隆寺現地案内学習をして、今までにない経験ができて思い出になりました。

◆法隆寺ガイドブックを読み、悪いところを色々アドバイスしてもらいました。私たちの班に来てくださったのは佐藤さんでした。私がすごいと思ったのは、英語で話している時も、絶対に人の目を見て話していたことです。私も人と話すときは目を見て話しているつもりだったけど、佐藤さんと話す時はどうしても目をそらしてしまいました。佐藤さんは「目を見て、ゆっくり、きれいに、発音は正しく、大きな声で話しましょう。」と言っていたけれど、これを全部完璧にするのは、そう簡単ではないと思います。今回、学んだことは基本を大切にすることです。このアドバイスをいかして、これからも頑張っていきたいです。

◆私は、まず最初にアイセスさんはどんな人達なんだろうと思っていました。でも実際授業でアイセスさんと会うと緊張して、頭の中が真っ白になって、話すので精一杯でした。事前学習でここまで緊張しているのに、現地案内になると、どうなるんだろう、と不安になりました。でもアイセスの佐藤さんが、「緊張しなくても、留学生よりはあなたの方が、法隆寺について知っているのだから大丈夫。」と言ってくれたので、安心できました。「声を大きく。」とか、注意されたところが多かった気がしますが、今よりもより良くなるのだ

ったら良いことだと思っし、なにより私達が、まだまだできると思ってくれているからだと思うと、とてもうれしかったです。現地案内でこの経験がいかせたら、いいなあと思いました。

◆私は、アイセスさんと授業の間ずっと英語で会話すると聞いて授業の前は、絶対無理だとか大丈夫かなと思っていました。授業で始めに教えてもらったことは、外国人を案内する時の注意点とアドバイスです。「リラックスしてゆっくりと」とか「手も使って説明する」などで、気がつかなかったことやなるほどっと思うことがたくさんありました。

アイセスの佐藤さんと一緒にガイドブックを読んだり、英語で質問されたことに答えたりもしました。1つ1つ色々と丁寧にアドバイスを説明してくれるのですごく分かりやすかったです。ガイドブックに書かれていないこともたくさん教えてもらって勉強になりました。私もそんなふうに案内できたらいいなと、思いました。

この学習は初めはいやだなと思っていたけど、みんなで協力して英語で受け答えしたりしているうちに楽しくなっていました。10日も楽しんで案内できたらいいなと思いました。

◆私は、アイセスさんとの学習をして、たくさんのことを学びました。一つ目は大切なところは、はっきりということです。例えば Five Story Pagoda の説明をする時は Pagoda が大切です。相手に伝えるためには自分が一番伝えたいことをはっきりいうことが大切です。逆に、be 動詞などはあまり聞かなくてもいいので、はっきりといわなくていいと言っていました。

二つ目は相手の目を見て話すことです。アイセスさんは私たちの顔をすごくじっと見て話してくれました。そうすると、私たちもわからなくても頑張って知っている単語を探そうと言う気持ちになりました。そうしたら心と心が通じたように思えました。そして英語で話をする楽しさを知ることができました。

このような学習はとてもいいことだと思うし、これからも後輩には受け継いでほしいなと思いました。会長さんが言っていたように1月10日にはリラックスして外国人の人との交流を深めたいです。

◆私は今日、中谷さんにお世話になりました。発音がとてもよくて、スラスラとしゃべってくださったので、[本当に日本の方ですか?]と、思えるほどでした。

私の班では、一人ずつが自分の担当の文を読み、アイセスさんがアドバイスや、その文について説明して下さる、というものでした。そして、そのアドバイスは、とても学べるものでした。

1. しゃべるときは、ダラダラしゃべらない。
2. 大切な言葉は大きな声でゆっくりしゃべる。
3. is や in などの語はほとんど言わない程度に。

でした。特に3に関してはよく言っておられました。学校のテストなどでは、しっかり言って、1つ1ついいに言うので「イット、イズ…」となるからだそうです。中谷さんのお手本は、「イティーズ」でした。

今日の授業はとてもためになるもので、いろいろなことを学んだので、今度の法隆寺学習の時に役立てたいと思いました。

◆私は今回、アイセスさんと勉強をして、とてもたくさんを学ぶことができました。私は今まで文はきっちり言わないといけなとか、全部をちゃんと聞きとらなといけなとか色々思っていたけど、そうではないということが分かりました。確かに、聞き取ることも言えることも大事だけど、最も大事なのは、その人が一番伝えたいと思っているポイントを聞き取ること、一番言いたい事は大きくきっちり伝えればいいということをおっしゃっていて、was や it などの言葉は、速く小さく言って、伝えたいところは大きくゆっくりと言えいいということを知りました。最初聞いたときはすごく不思議だったけど、私たちの班のアイセスの方の話を聞いていると、確か

に大事なところを大きく言っていて、私たちが分からない顔をすると、文を全部繰り返すんじゃなくて、大事な単語だけを何度も繰り返して話していました。

そして、もし言葉を忘れてしまっても、正しい文を言おうとするんじゃなくて、知っている単語に置き換えて言えばいいということを学びました。

私は今回の学習で、自分はいくら法隆寺について知らないんだなあと思いました。だから、もっと詳しく知りたいと思ったし、英語と特徴やポイントについて色々知れたし、聞いているうちに言われていることをだんだんと理解できるようになって、うれしかったです。もっと英語について知りたいと思った。

◆私は法隆寺現地案内事前学習を通してアイセスさんと英語で会話してみて、やっぱり難しいなと思いました。全然会話にならなくて困っていたのですが、アイセスさんが会話するときのポイントなどを分かりやすく教えてくださいました。

最初は自信がなくてなかなかはっきりと大きい声で話せなかったりしたのですが、会話していくうちに慣れてきて少しずつ話せるようになりました。英語だけではなく法隆寺のことについてもアイセスさんと会話していて学ぶことができました。私は斑鳩町に住んでいますが法隆寺のことはなにも知らなかったの、アイセスさんが写真などを見せて説明して下さいましたので、分かりやすくとても勉強になりました。

◆今日はアイセスさんと学習出来て、本当に楽しかったし嬉しかったです。初めのほうは、少し緊張したけど、時間がたつにつれて、だんだん距離が近づいた気がしました。一つずつ英文で説明した所の工夫する所や注意して読むところとか、とにかく前より進歩できた気がしました。「ここをもう少し大きく読んだほうが良いよ。」とか「この単語は別の単語でも良いよ。」とか色々教えてもらえてすごくうれしかったです。

私の班は主に金堂の中にあるものの説明が中心的で、見たことのないものが法隆寺で見られるので今からとても楽しみです。写真を見せてもらって、すごいなあって改めて思いました。

私はあまりコミュニケーションがとれないのですごく心配だったけど、所々の単語を聞いてその意味がなんとなくわかると、「今、自分は英語で会話出来ているなあ〜。」とか思って、すごく自信がついたような気がしました。

当日は、本当に本当の外国人です。すごく今から緊張するぐらいです。でも、とても楽しみであります。だって、今まで外国の人と英語で、しかも学校以外では経験がないからです。ちゃんと伝わるかな？とかうまく会話出来るかな？とか不安はたくさんあります。でも、アイセスさんに少し工夫の仕方等教えていただいたので、本番ではしっかり頑張りたいと思います。そのための今日の授業はとても役に立ちました。本当にありがとうございました。

◆最初はうまく話せか心配でしかたなかったけど、アイセスさんが優しく接してくださって、全く聞きとれなかった英語も時間がたつにつれ、聞きとれるようになり、少しずつ意味も分かようになりました。

アイセスさんはすごく分かりやすく英語のポイントを教えてくださいまして、普段全然意識していなかったところを、改めて再確認した。そして、法隆寺の豆知識も知れてすごくためになることばかりでした。

なので、次の案内学習につなげられるように、頑張りたいと思いました。

◆今日は、アイセスの高橋さんが私たちの班に来てくれました。私のイメージではもっと英語の勉強をしようと思っていたので、最初は「嫌やなー」って思っていたけど、高橋さんが来てくれて法隆寺の英語をやってみると、意外と楽しくておもしろかったです。私は英語の覚えて言うやつを忘れかけていて皆より言うのが遅くなってしまいましたが、先生や高橋さんが優しく見守ってくれたので頑張って言えました。言い終わった後、先生や高橋さんが自分のように喜んでくれたのでとても嬉しかったです。その後は高橋さんについての質問タイ

ムを英語でしました。

英語で質問するのはあまりしたことがなかったので、法隆寺で生徒さん達に質問するかもしれないのでいい経験になりました。アイセスの皆さんありがとうございました。

◆私は斑鳩南にアイセスさんが来てくれた事で前から英語は好きだったけど、もっと英語が好きになりました。法隆寺のガイドブックの覚えたところを言って、良ければ褒めてくださり嬉しかったです。アイセスさんが教えてくれたことは本当に役にたちました。また、自分が将来外国に行く時活用したいと思いました。そしてこれからも世界遺産の法隆寺を世界に広めたいです。

◆私は今回初めて法隆寺の事について、アイセスさんと話しました。今まで法隆寺の事なんてあまり知らなかったけれど、アイセスさんと話すにつれて徐々に分かるようになりました。

それに、ガイドブックに書いてあることだけでなく、アイセスさんの知っているその他のことについて、詳しく学習しました。例えば、「Five-Story Pagoda」の「Pagoda」は「塔」という意味だけど、その他の意味もあるそうです。それは、「慰霊、遺灰」などという意味です。だから、法隆寺というのは慰霊や遺灰などのある場所だということです。その他にも、ガイドブックには載っていないたくさんのことを教わりました。法隆寺の事で他に知ったことは、シヤカなどの遺灰を守っている大切に重大な場所は、五重塔だということです。私が今までただの塔だと思っていた五重塔は、重大な意味があったのだと今日の学習で知って良かったです。

そして、聖徳太子の事についても教えてもらいました。ガイドブックに載っているのは、聖徳太子が622年に亡くなったという事だけでした。そして、アイセスさんに教えてもらったのは、2月22日に亡くなったということです。つまり、聖徳太子は622年2月22日に亡くなったという事です。こんなに「2」ばかりがあるのは、アイセスさんもすごいと言っていました。私もすごいなあと思いました。それに、その日は仏教の中でも大切な日になっていて、法隆寺でも祝われるそうです。法隆寺の事についてはアイセスさんの方が私たちよりも知識があって、これだったら、現地学習は安心だなあと思いました。でも、自分でもしっかりとしゃべりたいと思います。

他にも、法隆寺の事だけではなくて、英語の知識のようなことも教えてもらいました。例えば、暗記していた文章をアイセスさんに言って喜んでいたら、日本語で「やったー！」と言っていました。しかしその時に、その日本語の「やったー！」にも英語の表現があるそうです。それは、「I made it!」という表現です。それで、他の人はその人に対して「You did a very good job.」という「がんばったね。」という感じの表現の意味のことを言うそうです。それに、暗記のやつを言う時に1周目が終わって、2周目に入ったら「second round」と言うそうです。だから、〇周目っていうのはその序数+ round というそうです。

このように、今回の事前学習ではアイセスさんから様々な事を、教えてもらって良かったと思います。法隆寺の事もその他の知識も分かり、大変良い時間が過ごせたと思います。

◆アイセスさんとの会話では聞きたいことがうまく英語で言えなくて困りました。色々なアドバイスももらいました。英語を話すときは大きな声でわかりやすくということを教えてもらいました。アイセスさんから学んだことは法隆寺の現地学習で生かしたいと思います。

◆今日はボランティアの斑鳩アイセスさんに英語を話すときのポイントと英語で質問するときはどういった対応をとるのかを教えてくださいました。

最初はアイセスさんに、「何も見ないで一つでも覚えているかやってください。」と言われたので、一人一人アイセスさんに法隆寺について英語で説明しました。

次にアイセスさんと英語で日常的に使う言葉を英語で会話しました。例にあげると、「趣味は何ですか?」とか、「好きな芸能人は誰ですか?」とか、「好きな食べ物は何か?」などという質問をしました。このような日常会話を英語で話すことによって、英語がす

ごく身についたような気がしました。現地案内学習のときは、アイセスさんに言われたとおりに、「英語で話すときは大きな声でハキハキとしゃべる。」ということと「覚えなければいけないものはすべて覚えて説明できるようにする。」ことを実行できるようにしたいです。

### 法隆寺事前学習感想文 3年 3組

◆「五重塔は高い」というとき、「tall」か「high」のどちらを使えばいいのかを教えてくださいました。「tall」は塔や人のように細く、長いものに使い、「high」は平たいものが長い時に使うということを教えてくださいました。このように今から使える英語を教えてくださいました。アイセスさんにこのような今から使えることを沢山教えてください、とても楽しかったです。このことを現地案内の時に生かそうと思いました。

◆アイセスさんの「Me too.」が「ミュウツー」に聞こえました。「Me too.」と言っているつもりだと分かりましたが、「ミュウツー」に聞こえました。もし僕が英語を全く知らなかったら、「この人ポケモンのお話をするためにきたのか。」と、勘違いするところでした。「Me too.」と「ミュウツー」、この一言を間違えるだけで、全く意味が分からなくなります。言葉の一語一語は、人の伝えたい心の一つ一つを表していると思います。これからは、英語の単語一つ一つを大切に学んでいきたいです。

◆僕は今日の事前学習で岡野さんと話しました。話し始めて、岡野さんはまず1番後のページを開いて、「英語はアクセントが大切です」と言って、pagoda や register などの単語のアクセントを教えてくださいました。次に僕たちはそれぞれが担当しているところを順番に読んで行きました。そしてそこを読み終わると、その内容に関する質問を出そうと岡野さんが言ったので、僕たちはそれぞれ質問を出し合って、答え合いました。また、僕たちが自分のところを読むと、岡野さんがガイドブックに載っていない説明や話をしてくれました。その中身は金堂の中にある薬師如来像はどういう神様で、だれのために作られたのか、や四天王寺像の場所と名前の簡単な覚え方などを教えてくださいました

僕はこの事前学習の前に先生が、「アイセスの人たちは英語がペラペラですよ」と言っていたので、できるだけアイセスさんたちの話す言葉を聞き逃さないようにしたけれど、やっぱり最初のうちは所々聞き取れないところがあって何度も言ってもらったり、ゆっくり言ってもらったりして、何とか会話しました。

今回のことで、英語で会話することに少し自信がついたので、今度ある法隆寺学習で留学生の人と話すのが楽しみになりました。

◆僕は今日の事前学習で岡野さんに習いました。西塾先生が言っていた通り、アイセスのみなさんは英語がペラペラで驚きました。僕は英語を書くことはだいたいできるけど、話すのは一回一回考えないと出来ないの、アイセスさんのようにペラペラになりたいと思いました。岡野さんは「英語はアクセントが大事」と教えてくださいました。次に、僕たちが担当しているところを順番に言っていました。実際やってみて、担当のところをあんまり覚えていないことがわかりました。だから、家で覚えてきました。事前学習のとき「間違えても良いから、はっきりと話さない」と優しく教えてくださいました。だから、楽しくできて良かったです。

◆アイセスさんの人の見た目は普通の日本人って感じだったけど、みんな英語がペラペラだった！話のほうは法隆寺についていろいろと英語で教えてくださいました。ガイドブックにも書いていない事をいっぱい教えてくださいました。そして、そのことについていろいろ質問してきました。でも、なかなか返事ができませんでした。でも、全部英語だったけど知っている単語も結構使っていたので、大体わかったの。僕も頑張って英語を喋れるようになりたいです。

◆僕は、アイセスさんが見た目は思いっきり日本人なのにほんとの外国人のように英語がぺらぺらなことにとっても驚きました！！

アイセスさんに話すときは目を見て話したほうがいいのか、会話をたやさないようにいろいろな話をしたほうがいいのか、いろいろなことを教えてくれました。本番にいかせればいいと思います。

◆法隆寺案内の事前学習で説明する文章を全然覚えてなくて、喋るのに苦労しました。会話も英語だったから、何を喋ってるか、わからなかった。たまに分かる単語があったから答えられるところもあった。アイセスさんにジェスチャーも入れたほうがいいっていわれたから本番の時は入れたいです。留学生と話す時はできるだけ英語で話したいです。

◆アイセスさんが僕に教えてくださったことは三つあります。まず一つ目は目を見て会話をする事です。二つ目はコミュニケーション・会話を絶やさない事です。なぜならば外国人を退屈させてしまうからです。そして、三つ目は身振り手振りを使って案内をすることです。身振り手振りを使って会話をする事によって、ただ言葉だけで案内するよりも大きな成果を得ることができるからだと思います。このことを日常の生活でも使うことで身に着くと思います。

◆最初、SGGの人たちに会った時は緊張したけど、とても親切でした。授業が始まって、ガイドブックを読んでいると、読みがわからない単語が出てきて、SGGの人に聞いたら親切に教えてくれました。

ほかにも、建物がいつ建てられたかわからなくなったら、何世紀ごろって言ったらいいと教えてくれました。

こうゆう授業もたまにはいいな～と思いました。将来に役立つことがいっぱいありました。

◆最初はアイセスの人が話す英語がわからなかったらどうしようとか、まったくは話せなかったらどうしようとか、いろいろ不安なこともあったけど、いざやってみると、アイセスの人が、わからないところを教えてくれたり、留学生と話すときに大事なことやポイントなどを、ていねいに、そしてやさしく教えていただきました。そのとき言われたことは、相手の目を見て話すことや、作られた年がわからないときは、～世紀でいいなどです。とても勉強になりました。

◆担当のアイセスさんが、とても優しくて分かりやすく教えてくださったので、楽しく事前学習ができました。そのアイセスさんにいろいろなことを教えてもらえて、法隆寺に行って外国の人を案内することが楽しみにになりました。英語の発音で外国の人の聞きやすいアクセントや会話表現などを教えていただきました。

また、英語で話す機会があまりないので、今回はとても良い経験となりました。英語でのアイセスさんとの会話は、少しずつ慣れていきたいと思います。担当のアイセスさんから法隆寺の火災原因は電気座布団が漏電して火災が起きたと言っていました。

このように、英語の他にも法隆寺のことについても色々教えていただきました。すごく為になりました。英語で話すことや、法隆寺のことが好きになりました。

◆最初は緊張して何を話したらいいかわからなかったけど、アイセスの人が優しくしてくれて、緊張が無くなりました。同じ日本人なのにあんな英語がぺらぺらで羨ましかったです。わからないところは日本語で優しく教えてくれてわかりやすかったです。とてもいい勉強になりました。

◆アイセスの人達は思っていた以上に英語が上手く、流暢に喋っていたので驚きました。授業だけで分かる事だけでなく、外国人の方々

とも喋っているからこそ分かるような事も教えてもらえたので、良かったと思っています。

英語で話すことにまだ少し抵抗はあるけれど、これからもこういう機会があったら積極的に参加するのも悪くはないと思いました。本番でもしっかり話せるように頑張りたいです。

◆今日は、いつもの授業より、英語を多く使って、法隆寺について、たくさんのことを学ぶことができました。

梅田さんも、とても楽しそうに英語を話していてみんなと楽しく英語を話すことができてよかったです。梅田さんの話も分かりやすく、とても聞きやすかったです。自分が英語を話すときに、自分の言いたいことが伝わって、よかったです。実際に案内するときに生かされるのがたくさんあったので、とても勉強になりました。単語の発音のポイントなどを細かく教えていただいて、いろいろ分かったのでよかったです。法隆寺の建物に関するいろいろな豆知識を教えていただいて、とても役に立ちました。

◆僕の班には梅田さんが来てくれました。最初はとても緊張していたけれど、一つ一つ丁寧にわかりやすく指導してくださったので、とてもわかりやすかったです。

今日、梅田さんから一番学んだことは、現地で大きな声でゆっくりと、はっきりと相手と話すということです。英文は少しぐらい間違えてもいいけど大きな声で話さないと相手がわかりにくいからです。

本番まであと一週間ぐらいですが、今日梅田さんから学んだことを心がけて、法隆寺案内学習に一生懸命取り組みたいと思っています。

◆僕の班には、梅田さんが来ました。最初すごく緊張しました。けれど、梅田さんが優しく違うところを違うよと教えてくれました。発音のところもわかりやすく教えてくれました。現地では、わかりやすく大きな声でがんばりたいと思いました。

◆法隆寺事前学習の前、アイセスさんは英語がペラペラに喋れるらしいからちゃんとコミュニケーションが出来るか不安でした。案の定、アイセスさんが喋ることに全然、受け答えが出来ませんでした。こんなにどうやってアイセスさんたちはペラペラになったのか知りたいです。英語はもともと嫌いじゃなかったのですが、アイセスさんとも喋れるのがとても楽しかったです。英語なんか日常では使わないから、日本人なのに喋れるアイセスさんたちがうらやましいです。人にとって世界共通語の英語が喋れると言うことは素晴らしいことだとも思ったし、いいなあと思いました。

◆私たち3年生は夏休みから11月10日の法隆寺現地案内学習にかけて頑張ってきました。事前学習の11月2日には学校にアイセスさんが来てくれました。私は英語が苦手です。私は正直、「日本人なのに英語とかいらん。」と思っていました。事前学習の時も目を見て話すのも気持ちをこめて話すのも全然できませんでした。私の班に来てくださった佐藤さんがみんなに質問をしている間も、自分はあてられないように目を合わせないようにしていました。でも、あまりにも佐藤さんは英語で楽しそうに話して、色々なことを教えてくださったので、なんとなく「私もその会話に入ってみようかな。」と思ってました。佐藤さんと英語で自己紹介をしたときには、もう普通に英語で会話を楽しんでいる自分がいました。その時、私は「伝わったら楽しい！！！！。」と思えました。今日の事前学習で学んだ英語で会話する楽しさを生かして、現地案内学習を頑張りたいです！！！！！！！！！！

◆アイセスさんと最初、普通の会話を英語で話しました。アイセスさんは、先生が「ペラペラさん」と言っていたので、英語がうまいんだろうなとは思っていたけど想像以上にうまくて、すごかったです。英語の発音とかはそんなに上手にできる自信はないけど、佐藤さんに教えてもらったように、恥ずかしがらずに、相手の目を見て、気軽に頑張りたいです。自分なりになるべく外国の人に法隆寺のことを

わかってもらえたらな、と思います。

◆最初は、すごく緊張していて、ちゃんと言えるかな？答えられるかな？と思っていたけど、佐藤さんと話しているうちに、緊張が解けてきて、とても楽しく学習することができました。佐藤さんに教えてもらった案内する時のコツは、本番でも実行してみようと思いました。

一つ目は会ったらあいさつと自己紹介をすること。

二つ目は、恥ずかしがらないこと。

三つ目は、話すときは、必ず相手の顔を見ること。

四つ目は、気楽に自信を持つこと。

五つ目は、説明はゆっくりと、明瞭に。

六つ目は、説明の対象物は手で指示してあげること。の6つです。

この6つをしっかり守って、本番に臨みたいと思います。

◆実際に法隆寺案内をしているアイセスさん達と授業ができてよかったです。佐藤さんに案内のコツを教えてもらったり、ガイドブックに書いていない事も教えていただいたり、すごく勉強になりました。

アイセスさん達は本当に英語がペラペラでとてもびっくりしました。私も英語をあんな風に喋りたいと思い頑張りました。今まで一生懸命覚えていて全部覚えていると思っていたけど、今日実際に見ないで喋ってみると、前覚えていたのが忘れていて、これは危ないと思って当日までにしっかり覚えないと、と思いました。今日は緊張したけど、とても楽しかったです。

本番当日は、法隆寺のことを知らない留学生さんに今まで勉強してきたことを思いだして、わかりやすく案内できたらなと思いました。そしてみんなと楽しくできたらいいなと思いました。

◆英語の授業で法隆寺事前学習をしました。私の班のアイセスさんの名前は佐藤武さんでした。最初とても緊張していました。でも、だんだん話していくうちに緊張がほぐれました。佐藤さんには案内のコツを教えてもらいました。

1・必ず会ったら挨拶と自己紹介をする。

<例>Good Afternoon. Welcome to Horyuji temple.

My name is Kohno Fumika.

I try to do my best to give you a guide of Horyuji Temple.

Or I try to do my best to guide you through Horyuji temple.

2・恥ずかしがらない事。

<例>Don't be shy.

3・話す時は必ず相手の目を見る事。

<例>Look into the eyes of visitors.

4・気楽に。自信を持って。

法隆寺についてあなた達は彼等よりもずっと知っているのだから。

<例>Take it easy and have confidence.

You know about Horyuji temple much than them.

5・説明はゆっくりと、明瞭に。

<例>Speak slowly and clearly.

6・説明の対象物は手で指示してあげる事。

<例>Point your finger at the object to be explained.

今回の授業をいかして現地案内学習も頑張りたいです。佐藤武さん、ありがとうございました。

◆金堂や五重塔の内部がくわしく開けたり、自分の欠点もわかったりしました。自分のまわりには英語をペラペラと話せる人がいないので、いい授業で、いい練習にもなったと思いました。

◆事前学習は教科書とかでやるのと違って、発音のアクセントとか、どこを強調して読むかとかを教えてくれて分かりやすかった。また、アイセスさんは、法隆寺の事だけじゃなくて、色んな単語を教えてくれて嬉しかったです。それにもし、現地案内学習のときに緊張して単語が頭からぬけてしまったら、違う単語で言っても通じるとか、実際に法隆寺に行った時どうしたらいいのかも教えてくれて、最初は法隆寺案内学習とか英語苦手やし、嫌やなあって思ってたけど、アイセスさんと事前学習をやってみて、頑張ってみようかなあって思いました。

◆私は今まであまり法隆寺に興味はなく、お寺と仏像がたくさんあるところというイメージしかありませんでしたが、英語の学習を進めるうちに新たな発見がたくさんありました。ひとつひとつのものに深いエピソードがあり、その貴重さを感じることができました。

この日はアイセスの中谷さんにお世話になったのですが、予想以上に自分の知らないことが多く、さらにたくさんのことを学べました。像などの補足説明だけでなく、ガイドする際のコツや心構えも教えてくださり、やっ当日のイメージが見えてきて、同時に外国の方とお話できるのが楽しみになりました。しかし、やはり英語においてはまだまだ未熟で、表現したいことをうまく言い出せなくて歯がゆい思いをしました。世界で活躍するためにも英語は必要不可欠なので、これからもっと使いこなせるようになりたいです。

◆英語がペラペラに話せる人と会話するのは、すごく貴重な体験だと思ったし、楽しかったです。そういう風な体験をするのは、初めてだったので、緊張していて、うまくしゃべれなかったりもしたけど、わからないところは、もう一度聞くこともできるし、ゆっくりしゃべってくれたりもできるので、良かったです。アイセスさんは、私たちの目を見て話してくれるから、自分もきちんと聞く気になれたし、それは、すごく大事なことなんだなぁと思いました。アイセスさんは、常に、私たちに、「大切なことは、ゆっくり大きい声で、言うといい」と、言っていたので、法隆寺案内学習の時には、そうしようと思いました。

法隆寺のことについても、詳しく教えてくれたし、写真とかも見せてくれたりしたので、さらに法隆寺に興味をもちました。自分が見たことない像や、行ったこと・入ったことない場所があって、入りたいなぁと思っていました。

アイセスさんは、すごく上手に話してくれたので、わかりやすかったです。私も、案内の時には、ゆっくりと大きい声で頑張りたいです。

◆法隆寺のことで知らないことも教えてもらい、知識が増えたり、アクセントの付け方などわかりやすく説明していただき、理解があやふやな部分もスッキリとわかって嬉しかったです。写真を見せてもらいながらだったので、ここがオススメだとか是非連れて行ってあげたい場所もわかりやすかったです。アイセスさんの話が楽しくて、時間が短く感じました。

◆高橋さんと、英語で話して勉強になったことがたくさんありました。知らなかった事を細かく教えてくれて、とても面白かったです。最初は緊張して、あたふたしちゃってたけど、すごくフレンドリーに話しかけてくれるし、分からない英語の意味も、一回一回教えて

くれて、すごく楽しかった。うまくしゃべれなくても、「ゆっくりでいいから、ハキハキね。」とアドバイスもくれて、いつのまにか、緊張していませんでした。

「金堂の壁画」が一度燃えてしまったというのが、驚きました。今のは歴史的には価値はないけど、とてもきれいなので、見るべきだと言っていました。

本番に備えての学習として、とても良い参考になりました。

◆最初は、英語がペラペラということで、ちゃんと会話ができるのか、とか心配でとても緊張しました。でも、アイセスの高橋さんは、それぞれみんなが覚えたところを聞いて、私の場合”It is”の発音について教えてもらいました。”Jikokuten,Zochoten,Komokuten,Tamonten”は「じ(Ji)ぞう(Zo)買う(Ko)た(Ta)」というふうに覚えると良いということや、玉虫厨子は、それを作るために何千もの玉虫たちが殺され犠牲になってしまったというような、見方をかえた奥の話(?)など、そのほかガイドブックには載っていないたくさんの歴史を教えてくださいました。高橋さんの話すことはとても興味深いことばかりでした。

私はこの学習を通して、英語でコミュニケーションをとることのむずかしさとともに、今回はアイセスさんでしたが、英語を学ぶことで、相手のことや相手が知っていて自分の知らないことを知ることができ、相手にも自分の知っていることを教えることができるという当たり前のようなことを改めて学びました。

本番では、ちゃんと自分の言うところを完璧に覚えて、指摘された「It is」の発音などにも気をつけて、法隆寺案内に取り組んでみたいと思います。

◆私はアイセスさんの事前学習の日、欠席していました。私は、法隆寺案内学習のためにガイドブックで自分の担当になったところを覚えました。これをおぼえなきゃいけないって決まったときは、絶対ムリ！！って思ったけど、意外とスラスラ覚えられました。

事前学習のちょっと前にした班ごとの会話は、とても緊張しました。練習の練習がこんなに緊張するのなら、本番はもっと緊張するだろうなと思いました。だけど、ティムはずっと私たちの目を見て、間違っても、待っててくれたので、とても楽しく英語を話すことができて良かったです。

◆アイセスさんの話を聞いてとてもわかりやすかったし、楽しかったです。私は、法隆寺現地案内事前学習をやっついてよかったと思います。なぜなら、事前学習をすることでわからなかったところがあるようになったり、まめ知識などを聞いて法隆寺のことを深く知り、もっと興味深くなったからです。

アイセスさんの話を聞いていろいろな事を学びました。例えば、玉虫厨子は何千ものタマムシの羽で作られていることや、四天王像の4つの像の覚え方などを学びました。

私はこれらのアイセスさんから学んだことを活かして、外国から来る留学生のチョウシュウブンさんに法隆寺のすばらしさを伝えたいと思いました。

◆私はこの法隆寺事前学習をやっつて、最初は本当に英語が人の前で話せるのか不安でした。最初、自己紹介からで、ちょっと何を話せばいいのか分からなかったけど、どんどんなんとなくで、高橋信男さんが話していることが少しだけ分かってちょっと楽しくなりました。玉虫の歴史や、法隆寺の中のいろいろな歴史を詳しい所まで教えてくれて、ちょっとだけ興味をもてました。これから本番で、ここでの事を生かしたいと思いました。